

令和4年度 ニシン漁獲物調査速報(6)：小樽地区

1～3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和5年3月6日夕刻に小樽市漁協に水揚げされたニシンの漁獲物調査を3月7日に実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

3月6日の小樽地区では、「1番」、「2番」、「3番」の3銘柄が主に水揚げされていました。主体は「1番」でした。また、少量ながら「子抜け」も出荷されていました。

2. 銘柄「1番」の結果：メスの卵巢完熟率は100%

銘柄「1番」の標本42尾中、16尾がオス、26尾がメスでした。尾叉長は31cm台(右図)、体重330～429gの個体が主体で、前回と比べるとやや小型が中心でした。メスの卵巢はすべて完熟状態(卵巢の色は透明感ある黄色)でした。平均卵巢重量(最小～最大)は、100.9g(55.9～144.5g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

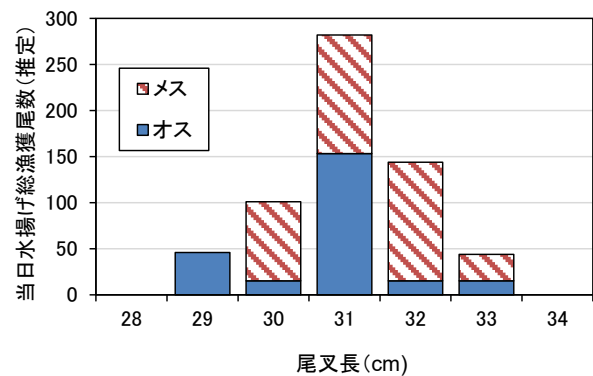


図 銘柄「1番」の尾叉長組成

2. 銘柄「2番」の結果：メスの卵巢完熟率は89%

銘柄「2番」の標本51尾中、23尾がオス、28尾がメスでした。尾叉長は29～30cm台(右図)、体重280～329gの個体が主体でした。メスの卵巢は25尾(89%)で完熟状態で、残り3尾は未熟でした。平均卵巢重量(最小～最大)は、79.0g(58.2～104.7g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

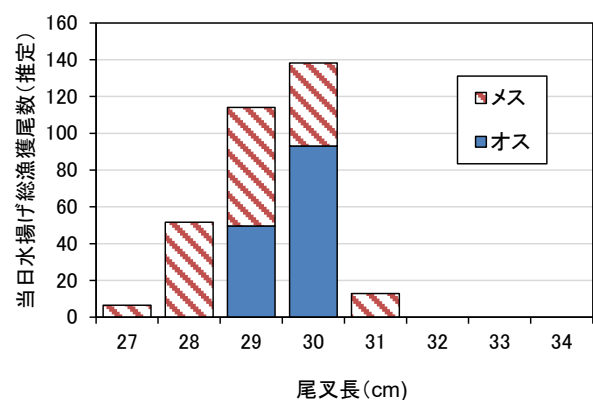


図 銘柄「2番」の尾叉長組成

(つづく)

2. 銘柄「3番」の結果：メスの卵巣完熟率は97%

銘柄「3番」の標本65尾中、27尾がオス、38尾がメスでした。尾叉長は28～29cm台(下図)、体重は230～329gの個体が主体でした。メスの卵巣は37尾(97%)で完熟状態で、残り1尾は未熟でした。平均卵巣重量(最小～最大)は、65.1g(43.3～80.6g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

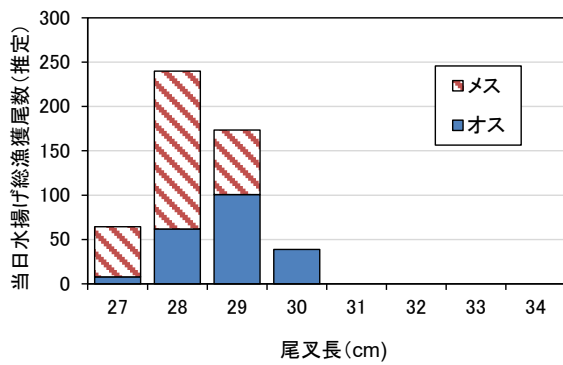


図 銘柄「3番」の尾叉長組成